

What is claimed is :

1. 情報処理システムは：

情報処理装置本体と；

前記情報処理装置本体から取り外し可能で、かつ、前記情報処理装置

5 本体を起動するための起動パスワードを設定する入力手段と；

前記入力手段で設定した起動パスワードを記憶する起動パスワード記憶手段と；

前記起動パスワード記憶手段に前記起動パスワードが記憶されている
か否かを判定する起動パスワード有無判定手段と；

10 操作者に起動パスワードの設定を要求する起動パスワード要求手段と
を有し、

i) 前記入力手段が前記情報処理装置本体に接続されている場合で、
かつ、前記起動パスワード有無判定手段の判定結果が起動パスワード無しの場合
には、起動パスワード要求手段により、前記入力手段による本体の起動に対す
15 る起動パスワード設定を要求し、

i i) 前記入力手段が前記情報処理装置本体に接続されている場合で、
かつ、前記起動パスワード有無判定手段の判定結果が起動パスワード有りの場
合には、パスワードを認証した上で、前記情報処理装置本体を起動状態にし、
また、

20 i i i) 前記入力手段が前記情報処理装置本体に接続されていない場合
には、前記起動パスワード有無判定手段の判定結果が起動パスワードの有り無
しに拘わらず、前記情報処理装置本体を起動状態にする。

2. クレーム 1 記載の情報処理システムであって、

25 前記情報処理装置本体は：

前記起動パスワード有無判定手段の判定結果に関わらず前記情報処理
装置本体を起動する起動条件を記憶する起動条件記憶手段と；

前記起動条件記憶手段に記憶された起動条件が成立するか否かを判定
する起動条件成否判定手段と；

前記起動条件成否判定手段の判定結果が起動条件成立の場合に前記情報処理装置本体を起動する本体起動手段と；

を有する。

- 5 3. クレーム 1 または 2 記載の情報処理システムであって、
情報処理装置本体は、さらに、入力手段が情報処理装置本体に接続されているか否かを検知する入力手段接続状態検知手段を有し、
前記入力手段接続状態検知手段の検知結果が未接続であることが情報処理装置本体の起動条件である。

- 10 4. 情報処理システムは、さらに：
二次記憶装置と；
前記二次記憶装置に対する二次パスワードを設定するパスワード設定手段と；

- 15 二次パスワードを記憶する二次パスワード記憶手段と；
前記二次パスワード記憶手段に前記二次記憶装置に対する二次パスワードが記憶されているか否かを判定する二次パスワード有無判定手段と；
前記二次パスワード有無判定手段の判定結果が二次パスワード無しの場合に入力手段による二次記憶装置に対する二次パスワード設定を要求する二次パスワード設定要求手段と；

- 20 20 次パスワード設定要求手段と；
を有する。

5. クレーム 4 記載の情報処理システムは、さらに：
二次パスワード有無判定手段の判定結果に関わらず二次記憶装置に対する二次パスワード保護を解除する保護解除条件を記憶する保護解除条件記憶手段と；

- 25 前記保護解除条件記憶手段に記憶された保護解除条件が成立するか否かを判定する保護解除条件成否判定手段と；

前記保護解除条件成否判定手段の判定結果が保護解除条件成立の場合

に前記二次記憶装置の二次パスワード保護を解除する二次パスワード保護解除手段と；

を有する。

- 5 6．クレーム4または5記載の情報処理システムは、さらに、入力手段が接続されているか否かを検知する入力手段接続状態検知手段を有し、

前記入力手段接続状態検知手段の検知結果が未接続であることが保護解除条件である。

- 10 7．クレーム4記載の情報処理システムであって、
前記二次記憶装置は前記情報処理装置本体から取り外せる。

8．クレーム1または2記載の情報処理システムであって、
前記起動パスワード設定要求手段は、表示手段を含む。

- 15 9．クレーム4または5記載の情報処理システムであって、
前記二次パスワード設定要求手段は表示手段を含む。

- 20 10．クレーム8記載の情報処理システムであって、
前記表示手段は、さらに、タッチパネルによる補助入力手段を含む。

11．クレーム9記載の情報処理システムであって、
前記表示手段は、さらに、タッチパネルによる補助入力手段を含む。

- 25 12．クレーム1記載の情報処理システムであって、
前記起動パスワード要求手段は、さらに、音声発生手段を有し、
前記音声発生手段の音声で起動パスワード設定を要求する。

13．クレーム4記載の情報処理システムであって、

パスワード設定要求手段は、さらに、音声発生手段を有し、前記音声で二次パスワード設定を要求する。

1 4. クレーム7記載の情報処理システムであって、

- 5 二次パスワードが設定された前記二次記憶装置が、前記情報処理装置とは別の情報処理装置に接続され、かつ、入力手段が前記別の情報処理装置に接続された場合に、設定されていた二次パスワードと同じパスワードが前記入力装置から設定された時にのみ、前記別の情報処理装置が作動する。

10 1 5. クレーム7記載の情報処理システムであって、

 二次パスワードが設定された前記二次記憶装置が前記情報処理装置とは別の情報処理装置に接続され、かつ、入力手段が前記別の情報処理装置に接続されていない場合には、前記別の情報処理装置は二次パスワードの有無に関わらず作動する。

15 1 6. 情報処理装置本体と前記情報処理装置本体から取り外し可能な入力手段を有する情報処理システムの情報処理方法は：

 (a) 前記入力手段で前記情報処理装置本体を起動するための起動パスワードを設定する；

- 20 (b) 設定した起動パスワードを記憶する；
 (c) 前記起動パスワードの記憶の有無を判定する；
 (d) 操作者に起動パスワード設定を要求する；

 ステップを備え、

- i) 前記入力手段が前記情報処理装置本体に接続されている場合で、
25 かつ、ステップ(c)の判定結果が記憶無しの場合には、ステップ(d)を実行し、

 i i) 前記入力手段が前記情報処理装置本体に接続されている場合で、かつ、ステップ(c)の判定結果が記憶有りの場合には、前記情報処理装置本体を起動状態にし、

i i i) 前記入力手段が前記情報処理装置本体に接続されていない場合には、ステップ(c)の判定結果に関わらず、前記情報処理装置本体を起動状態にする。

- 5 17. クレーム16記載の情報処理方法は、さらに：
 起動パスワードの記憶の有無判定結果に関わらず、情報処理装置本体は、情報処理装置本体を起動する起動条件を記憶する；
 記憶された起動条件が成立するか否かを判定する；
 前記起動条件が成立の場合に前記情報処理装置本体を起動する；
 10 ステップを備える。

18. クレーム16または17記載の情報処理方法は、さらに：
 入力手段が情報処理装置本体に接続されているか否かを検知する；
 前記入力手段の未接続を示す検知結果が情報処理装置本体の起動条件
 15 とする；
 ステップを備える。

19. 情報処理装置本体に内蔵された二次記憶装置と、前記二次記憶装置に対する二次パスワードを記憶する二次パスワード記憶手段
 20 とを有する情報処理システムの情報処理方法は：
 前記二次パスワードの記憶の有無判定する；
 前記二次パスワード無しの場合に二次パスワード設定を要求する；
 ステップを備える。

- 25 20. 情報処理装置本体から取りし可能な二次記憶装置と、前記二次記憶装置に対する二次パスワードを記憶する二次パスワード記憶手段
 とを有する情報処理システムの情報処理方法は：
 前記二次パスワードの記憶の有無判定する；
 前記二次パスワード無しの場合に二次パスワード設定を要求する；

ステップを備える。

21. クレーム19または20記載の情報処理方法は、さらに：

二次パスワードの有無に関わらず二次記憶装置に対する二次パスワード保護を解除する保護解除条件を記憶する；

5 前記保護解除条件が成立するか否かを判定する；

前記保護解除条件が成立の場合に前記二次パスワード保護を解除する；

る；

ステップを備える。

10

22. クレーム21記載の情報処理方法は、さらに：

入力手段が接続されているか否かを検知する；

前記入力手段が未接続であることが前記保護解除条件とする；

ステップを備える。

15

23. クレーム16または17記載の情報処理方法は、さらに、
起動パスワード設定要求を表示画面で表示するステップを備える。

24. クレーム19または20記載の情報処理方法は、さらに、

20

二次パスワード設定要求を表示画面に表示するステップを備える。

25. クレーム23記載の情報処理方法は、さらに、

操作者が表示画面に触れることで補助情報を入力するステップを備え

る。

25

26. クレーム24記載の情報処理方法は、更に、

操作者が表示画面に触れることで補助情報を入力するステップを備え

る。

27. クレーム16または17記載の情報処理方法は、さらに、
操作者に音声で操作者に起動パスワード設定を要求するステップを備
える。

- 5 28. クレーム19または20記載の情報処理方法は、さらに、
操作者に音声で二次パスワード設定を要求するステップを備える。